

フロアカーリング 定村さん出前授業

三条高校生ら笑顔

帯広三条高校(合浦英則校長、生徒704人)は14日、音更町カーリング協会の定村和久会長(80)を講師に招き、1993年に考案された新得町発祥の競技「フロアカーリング」の授業を行った。

フロアカーリングは、ストーンの代わりに、「フロツカー」と呼ばれる車輪が付いた木製の専用用具を滑らせ、得点を競うニュースポーツ。「老若男女が誰でも楽しめるのが魅力」と定

村会長は話す。

同校は「生涯スポーツ体験授業」の一環として、5年ほど前からフロアカーリングを取り入れている。「より生徒に刺激を」との理由から、今年初めて定村会長



フロアカーリングを楽しむ生徒

に出前授業を打診した。

この日は3年生の男女18人が参加。生徒はいずれも初心者で、定村会長の指導の下、6チームに分かれてプレーした。体育の石田良秋教諭(60)も加わってリーグ戦を楽しんだ。

爽やかな汗を流していた黒田紋ノ丞(もんのじょう)さん(17)は「自分でやるのも、人がやっているのも見えて楽しい。今後も機会があったら友達とプレーしたい」と笑顔を見せた。授業の終わりに定村会長は「みんなすごく筋が良い。あっぱれ」と賛辞を送っていた。(山田夏航)